

<参考> 令和5年度 活動実績

- 4月 ・1号地の「自然観察とタケノコ掘りを楽しむ」(テレビさいたまの収録、後日朝の情報番組で放映)の応援6人
- ・クラフト==鉛筆ブローチ
 - ・*代表・鈴木孝雄、副代表・加藤勝造、中川則子、会計・大野裕子の新役員体制でスタート。また、保全会役員には上記のほか三好誠氏が加わった。
- 5月 ・第一回自然塾=7号地(小川原家屋敷林)見学
- ・クラフト==鉛筆ブローチ、杉玉制作へのアプローチ
- 6月 ・第二回自然塾=9号地(掘兼・上赤坂の森公園)
- ・クラフト==鉛筆ブローチ、杉玉試作
- 7月 ・幼稚園で使う七夕用の竹約15本提供
- ・14号地(三芳町平地林)での「森の散策とクラフト体験」に応援1人
 - ・10月のさいたま市緑の祭典に向けての準備、スケジュール作りスタート
 - ・クラフト==鉛筆ブローチ、杉玉試作も夏葉ではできないことが報告される、またパタパタなど作り方を継承していくために準備や試作スタート
- 8月 ・みどりの祭典と共に11月の県庁オープンデーに向けての準備もスタート。オープンデーは会場が狭いこともあってコマやメモホルダーなど小さな出展物で対応する方針をきめる
- ・リース講座、竹細工講座への応募者減少に対し、トラスト会員だけでなく一般への告知方法の工夫、チラシ作りなどを提案
 - ・クラフト==パタパタ、鉛筆ブローチ、杉玉
- 9月 ・みどりの祭典、出展メニュー、担当者など実施要領を決める。メニューごとに材料、準備状況チェック。人数不足から1号地などからの応援を募ることに
- ・県庁オープンデーでの出展メニュー決定
- 10月 ・みどりの祭典
- ・写真・動画コンクールの副賞検討開始
- 11月 ・県庁オープンデー
- ・クラフト講座 Xmas リース&スワッグ、竹細工で正月飾り
 - ・写真・動画コンクールの副賞、候補に竹明かり?
- 12月 ・写真・動画コンクールの副賞に竹のスマホスタンドキーホルダーと決定
- ・スタンドキーホルダーにどんぐり坊やのイラストと緑のトラスト運40周年記念の文字をプリントするレーザープリンター購入
- 1月 ・スタンドキーホルダー制作
- 2月 ・スタンドキーホルダーを各号地代表、理事などに配るため制作継続